

# 市の考えを問う 一般質問

3月13日・14日・18日の3日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。詳細は、二次元バーコードの読み取りで録画中継をご覧ください。

## Q 防災対策のさらなる充実に向けて

むらかみ 村上 信吉 議員

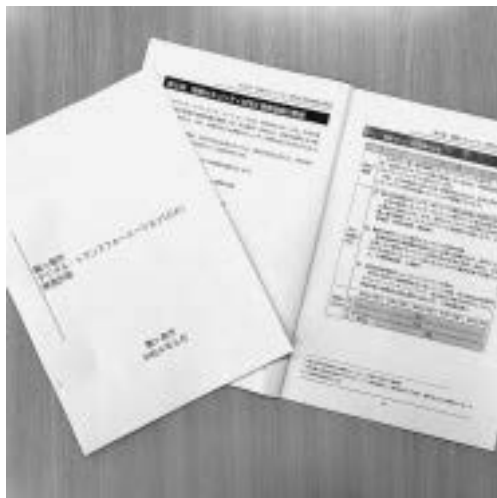


## A 鶴ヶ島市地域防災計画に基づいて実施する



災害時の共助・公助の充実を！

**問** 公助の取組は。  
**答** 総合防災訓練の実施や防災協定の締結、職員の防災力向上を目的とした研修や訓練など、鶴ヶ島市地域防災計画に基づき行政が実施すべき公助の取組を行っている。  
**問** 公共施設及び個人の住宅の耐震化率は。  
**答** 公共施設は全て、個人住宅の耐震化率は推計で約95%である。  
**問** 災害を想定したインフラ整備について。  
**答** 生活に欠かすことができない上水道・下水道については、一部事務組合が耐震化を計画的に進めている。  
**問** 共助の充実について。  
**答** 日頃から隣近所の住民と顔を合わせ、地域コミュニティが築かれていくことも共助の重要な役割となっている。



ガバメントクラウド・・・政府共通のクラウドサービスの利用環境のこと。

地域防災力の更なる強化に向け、総合防災訓練や防災講座などを通じて地域防災の重要性を啓発するとともに、自主防災組織の設立に向けた支援や、既存の組織の支援にも努めていく。  
**◎その他の質問**  
 一 高齢者とともに活気のある鶴ヶ島を目指して  
 二 脚折雨乞での鶴ヶ島の魅力の発信について

**問** ガバメントクラウド移行に自治体として選択する余地は。  
**答** 努力義務であり、選択の余地はあるが、非常に高いハードルが設けられている。  
**問** 高いハードルの要件とは。  
**答** ガバメントクラウドとの性能面、経済合理性などを定量的に比較した結果の公表や継続的なモニタリング、ガバメントクラウドを使用しなくても、標準準拠システムとのデータ連携を可能とすることがある。これら全てが認められないと、標準準拠システムの移行に対する補助金が受けられなくなる。  
**問** 人口規模が大きい東京区市町村の場合は、経費が非常に膨れ上がっているという調査結果が出ているが。  
**答** イニシャルコスト及びランニングコストは、想定よりも増額が予想されている。イニシャルコストは補助額の積み増しとなる。ランニングコストも、比較検討の材料がないが、増額との想定であるため、国に全額補助の要望をしている。  
**問** 標準化、共通化の移行期限の令和7年度中に1割の自治体が移行困難だとされているが。  
**答** 国の許可を得て、期限を延長して進める救済策があると聞いている。

## A 国に要望して遂行する

## Q ガバメントクラウドで自治体はどうなる

おあた 太田 忠芳 議員

